

14136	近代日本思想 Modern Japanese Thought	2年次～ 通年 4単位		
担当者	佐々木 冬流	履修可能学科 E Pe Pc C W F 関連資格 教職(C)		
サブタイトル	文学に描かれた近代思想の種々相			
授業内容 ・ ねらい	文学は人間を描く。人間は現実の中に生きている。文学に描かれた人間は現実を背負っている。現実は無数の種々相の集合体である。その中には、思想・無思想も含まれる。本講義は文学に描かれた近代思想の生々しい実態を探り出すことを目的とする。出来る限り作品そのものにふれることを旨としたい。			
授業計画	<table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top;"> 1. 近代日本思想の序 近代とは・思想とは・資料としての小説 2. 近代日本思想の概略 3. 個人主義の希求 苦悩する自我 『浮城』① 4. 『浮城』② 5. 『舞姫』① 6. 『舞姫』② 7. 抑圧される自我－『不如帰』 8. 近代の成立？ 金の世の中－『金色夜叉』 9. 社会意識の芽生え－『火の柱』 10. 遠い個人主義への道－『それから』 11. 世紀末意識 性格破産者の出現－『神経病時代』 12. ドッベルゲンガーの文学 13. 享楽と倒錯－『魔術師』 14. 幻想と憂鬱－『西班牙犬の家』 15. 総括 近代と近代的自我 </td> <td style="vertical-align: top;"> 16. 小説の女性像－フェミニズムへの道 フェミニズムとは 17. 明治婦人運動の概略 18. 少女たちの自覚－『菫の薔』① 19. 『菫の薔』② 20. 『婦女の籠』① 21. 『婦女の籠』② 22. 女学生たちの場合－『魔風恋風』『濁流』 23. 『青春』『己が罪』 24. 女教師たちの場合－『地獄の花』『落紅』 25. 『女教師』『野末の菊』 26. 飛べない明治の女性たち－『虞美人草』 27. 『或る女のグリンプス』 28. 『あきらめ』 29. 総括 思想と文学・『菫の薔』から『あきらめ』へ 30. 婦人運動史－明治から大正へ </td> </tr> </table>		1. 近代日本思想の序 近代とは・思想とは・資料としての小説 2. 近代日本思想の概略 3. 個人主義の希求 苦悩する自我 『浮城』① 4. 『浮城』② 5. 『舞姫』① 6. 『舞姫』② 7. 抑圧される自我－『不如帰』 8. 近代の成立？ 金の世の中－『金色夜叉』 9. 社会意識の芽生え－『火の柱』 10. 遠い個人主義への道－『それから』 11. 世紀末意識 性格破産者の出現－『神経病時代』 12. ドッベルゲンガーの文学 13. 享楽と倒錯－『魔術師』 14. 幻想と憂鬱－『西班牙犬の家』 15. 総括 近代と近代的自我	16. 小説の女性像－フェミニズムへの道 フェミニズムとは 17. 明治婦人運動の概略 18. 少女たちの自覚－『菫の薔』① 19. 『菫の薔』② 20. 『婦女の籠』① 21. 『婦女の籠』② 22. 女学生たちの場合－『魔風恋風』『濁流』 23. 『青春』『己が罪』 24. 女教師たちの場合－『地獄の花』『落紅』 25. 『女教師』『野末の菊』 26. 飛べない明治の女性たち－『虞美人草』 27. 『或る女のグリンプス』 28. 『あきらめ』 29. 総括 思想と文学・『菫の薔』から『あきらめ』へ 30. 婦人運動史－明治から大正へ
1. 近代日本思想の序 近代とは・思想とは・資料としての小説 2. 近代日本思想の概略 3. 個人主義の希求 苦悩する自我 『浮城』① 4. 『浮城』② 5. 『舞姫』① 6. 『舞姫』② 7. 抑圧される自我－『不如帰』 8. 近代の成立？ 金の世の中－『金色夜叉』 9. 社会意識の芽生え－『火の柱』 10. 遠い個人主義への道－『それから』 11. 世紀末意識 性格破産者の出現－『神経病時代』 12. ドッベルゲンガーの文学 13. 享楽と倒錯－『魔術師』 14. 幻想と憂鬱－『西班牙犬の家』 15. 総括 近代と近代的自我	16. 小説の女性像－フェミニズムへの道 フェミニズムとは 17. 明治婦人運動の概略 18. 少女たちの自覚－『菫の薔』① 19. 『菫の薔』② 20. 『婦女の籠』① 21. 『婦女の籠』② 22. 女学生たちの場合－『魔風恋風』『濁流』 23. 『青春』『己が罪』 24. 女教師たちの場合－『地獄の花』『落紅』 25. 『女教師』『野末の菊』 26. 飛べない明治の女性たち－『虞美人草』 27. 『或る女のグリンプス』 28. 『あきらめ』 29. 総括 思想と文学・『菫の薔』から『あきらめ』へ 30. 婦人運動史－明治から大正へ			
教科書 参考書	参考資料としてコピーを配付する。			
評価方法	期末ごとにテストを行う。			
事前準備学習 履修条件等	ノートをとること。 (2009年度入学生は「14222近代日本思想」を参照)			